

算数・数学科の授業改善

10月6日(月)、宮城県東部教育事務所登米地域事務所主幹(指導主事)中鉢 裕先生を講師に、第2回算数・数学研修会を市視聴覚センターで実施した。算数・数学の授業改善と題して、

学習指導要領の改訂の基礎となった中教審答申の中での小学校算数科、中・高等学校数学科の改善の基本方針

5つを確認し、移行措置に向けての、年間指導計画の見直し、算数・数学的活用力を育てる授業のポイント、ICTの活用等について指導していただきました。参加者は29名でした。

【受講者の声】

○まずは年間指導計画を確認し、今日の講義を基に、次年度からの移行措置に向けて、新たに加わる学習内容を知り、しっかりと準備していきたい。また、日頃の授業の中で、友達の考えを言葉に置き換えさせたりなど、算数の中で式を読み解く力など活用力を育てられるようにしていきたいです。

○算数的活動の充実や活用力を育てる授業について、実際にはどのような活動や授業をすればよいのか戸惑うことも多いのが現状です。しかし、本日の講義の中で具体的な例を挙げて教えていただいたので、分かりやすくイメージができました。

○新しく入った内容をどう組み入れていくのか。見通しを持って、年間指導計画を立てていかなければいけないと感じた。



(講師の中鉢 裕先生)



(講義に熱心に聞入る受講者)

県中学校国語研究大会
登米地区大会開催

当研究所の支援団体である登米市教育研究会の中学校国語研究部が、宮城県連合中学校教育研究会の運営システムの変更で県中学校国語研究会事務局を初めて仙台市以外で担当し、10月9日(木)、南方中学校を会場に標記大会



(大友修平部会長の開会の挨拶)

が開催された。研究主題を「生きてはたらく力をはぐくむ授業の創造～発問と思考の場を工夫し、論理的思考を促す学習指導(読むこと)～」

として、県内各地より多数の先生方が参加し、授業公開、分科会を行い、実り多い研究会であった。

各研究部の内容・進捗状況確認

10月16日(木)、当研究所事業の一つである研究員制度による、研究事業3部5部会(学校教育研究部:小中合同部会・小学校社会科副読本部会・小学校英語活動部会、幼児教育研究部:幼児教育研究部会、社会教育研究部:社会教育研究部会)の各研究部会主任・副主任・指導助言者に参集いただき、教育研究部代表者会議を市視聴覚センターで開催しました。会議では各研究部より研究内容、進捗状況についての報告後、研究のまとめ、研究集録の作成に向けて、今後の研究の進め方について話し合いました。



(研究のまとめ、集録作成について協議する各部会代表者)

11月の教育相談

- *当研究所専門カウンセラーを活用願います。
- ・教育相談日
4日(火)、11日(火)、18日(火)、25日(火)
の4日間
 - ・相談時間:午前9時00分～午後4時50分
 - ・相談方法:面接、電話(予約が必要)
 - ・予約受付:随時
 - ・予約先、問合せ先:市教育研究所Tel22-8029